

### ビジョン

「人々が幸せに生きられる」地域づくり、ひとづくりネットワークの構築を目指す

### 地域創生学部

《学士(経済学)》

### 趣旨・目的

東京で学び、地域に回帰する、地域からニッポンを変える人材・地域の活性化リーダーを育成

### 育成する人材

- コーディネーター 人をつなぎ、まとめる人
- アントレプレナー 新しい仕事を創る人
- エコノミスト 地域経済の活力を生む人
- オーガナイザー 組織をつくる人、まとめる人



(地域実習) 自治体から辞令等交付

### 教育の特色



(地域実習) 地域資源探索



学部ラーニングコモンズ



(地域実習)

ICT活用による情報共有

経済学・経営学を基盤とした地域創生人材の育成

クォーター制を導入し、第3クォーターに40日間の地域実習<sup>(\*)</sup>を実施。実践・フィールドのなかから「知」を習得する実習地は、1年次：地方、2年次：東京、3年次：地方、4年次：研究テーマにより決定

\*1 地域実習地(2016年度実績)

- 宮城県南三陸町、山形県最上町・長井市、新潟県佐渡市・柏崎市、徳島県阿南市、宮崎県延岡市

学部ラーニングコモンズを整備。学習サポーター(インストラクター)が常駐し、単位の実質化に向けた取り組みを実施

東京と地方、地域と地域の間に、信頼のネットワークを築く力を育成

### 地域構想研究所

《学部教育をサポートする研究所》

地域間を信頼でつなぐネットワークの構築を通じて、連携と協働のプラットフォームとなり、研究活動によって地域活性化に必要な提言、研究成果の社会実装を提案

- 研究 データに基づき地域資源の掘り起こしと活用
- 地域連携 自治体、大学との連携  
(H 29/2/1現在 自治体55、大学4、公益法人3)
- 人材育成 DMO推進人材など、地域課題解決人材の育成  
セミナーの実施
- 情報発信 独自の情報誌「地域人」の発行



地域創生情報誌「地域人」

### 研究の特色



プロジェクト研究会



広域自治体連携コンソーシアム担当者協議会

地域リニューシヨン情報研究  
数値化できない地域資源情報とビックデータの融合による新たな地域価値の創造研究と、情報センター設置を準備中

地域創生課題解決のための地域・大学共同によるプロジェクト研究

- (テーマ)1 新しい暮らし方・働き方(移住と企業の関係性)
- 2 観光によるまちづくり(日本版DMO)
- 3 自然保護・環境からのまちづくり
- 4 東京と地方のネットワーク構築  
(広域自治体連携コンソーシアムを通じた連携推進)

研究所支局の開設(一部2017年度から)  
全国8カ所(地域創生学部地域実習地)に、地域創生を目的とした取り組みを展開する協力事業体(大正大学地域創生アライアンスメンバー)を構築中

開設：平成28年4月 入学定員：100名

開設：平成26年10月 研究所長：清成 忠男